

科目名	作業療法治療実習Ⅱ			授業の種類	実習	講師名	
授業回数	15 回	時間数	30 時間 1 単位	必修・選択	必修	担当学年 時期	3年 前期
【授業の目的・ねらい】 臨床実習に必要とされる知識や技術を授業を通して実践し、実際の実習で実施できる技術を身につける。							
【実務者経験】 作業療法士として順心会幸生病院、介護老人保健施設白寿苑・夢前白寿苑にて、身体障害領域・老年期領域のリハビリテーションに従事経験。							
【授業全体の内容の概要】 提示された事例に対し、評価計画を立て、計画に沿って評価を実施し、統合と解釈、目標を設定し、作業療法計画を立案し実施し、再評価後の考察を考える。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 事例に対し、評価計画を立て、計画に沿って実施することができる 事例に対し、統合と解釈を行い、目標を設定することができる							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	事例1：評価計画作成						教科書・プリント
2	事例1：評価実施						教科書・プリント
3	事例1：評価実施						教科書・プリント
4	事例1：統合と解釈・目標設定						教科書・プリント
5	事例1：統合と解釈・目標設定						教科書・プリント
6	事例1：作業療法実施						教科書・プリント
7	事例1：考察						教科書・プリント
8	事例1：考察						教科書・プリント
9	事例2：評価計画作成						教科書・プリント
10	事例2：評価実施						教科書・プリント
11	事例2：評価実施						教科書・プリント
12	事例2：統合と解釈・目標設定						教科書・プリント
13	事例2：作業療法実施						教科書・プリント
14	事例2：考察						教科書・プリント
15	事例2：考察						教科書・プリント
	定期筆記試験						
【使用教科書・教材・参考書】 標準作業療法学 作業療法評価学3版 能登真一 医学書院 作業療法治療学で使用した教科書すべて							
【準備学習・時間外学習】 1・2年生で学んだ評価の方法を都度復習し、授業に臨む。 授業後は、評価方法を1人でもできるレベルになるように復習する。 治療方法について予習・復習を行う。							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は課題の評価を50点、定期筆記試験を50として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。							